

3.4.7 道路幅員別緑視率

道路幅員別の平均緑視率は、通路細街路が 33.7%で最も高く、次いで車線区分なし（歩道あり）が 19.1%、2車線道路（歩道あり）が 18.7%であった。一方、その他の道路と2車線道路（歩道なし）は、平均緑視率が 10%未満という結果であった。

前回調査と今年度調査の平均緑視率を比較すると、車線区分なし（歩道あり）が 1.7%で最も多く増加し、次いで4車線以上道路が 1.4%、2車線道路（歩道なし）が 0.6%であった。一方で、その他の道路のみが、前回調査を下回る結果であった。

これらの詳細をみると、車線区分なし（歩道あり）、4車線道路は、街路樹の生長による緑視率の増加もあるが、新たに街路樹が整備された箇所や道路沿道の施設が屋上緑化している箇所もみられた。

2車線道路（歩道なし）は、歩道が無いいため街路樹による緑視率の増加よりも、施設によるものが多い傾向であった。例をあげると、開発工事で新たな施設が建設されたことによる緑化や既存建物が解体されたことにより、新たな緑地ができたため緑視率が増加している箇所があった。

そのほか、減少した例としては、街路樹の伐採や宅地内の樹木の伐採、壁面緑化を含む施設内緑化をしていた施設の消失などが見受けられた。

また、平均緑視率を 5%ごとに区分した箇所数を割合でみると、その他の道路以外の道路で 25%以上の平均緑視率の割合が前回調査よりも高くなっている傾向がみられた。

表 3-6 道路幅員別平均緑視率

道路幅員	箇所	平均緑視率 (%)			増減
		H23-H25	H30	R4	
4車線以上道路	642	15.0	17.1	18.5	1.4
2車線道路（歩道あり）	543	18.2	18.2	18.7	0.5
2車線道路（歩道なし）	76	9.3	9.2	9.8	0.6
車線区分なし（歩道あり）	161	17.3	17.4	19.1	1.7
車線区分なし（歩道なし）	283	11.1	11.3	11.5	0.2
通路細街路	15	29.3	33.2	33.7	0.5
その他	7	6.2	10.5	9.3	-1.2

3. 緑視率調査

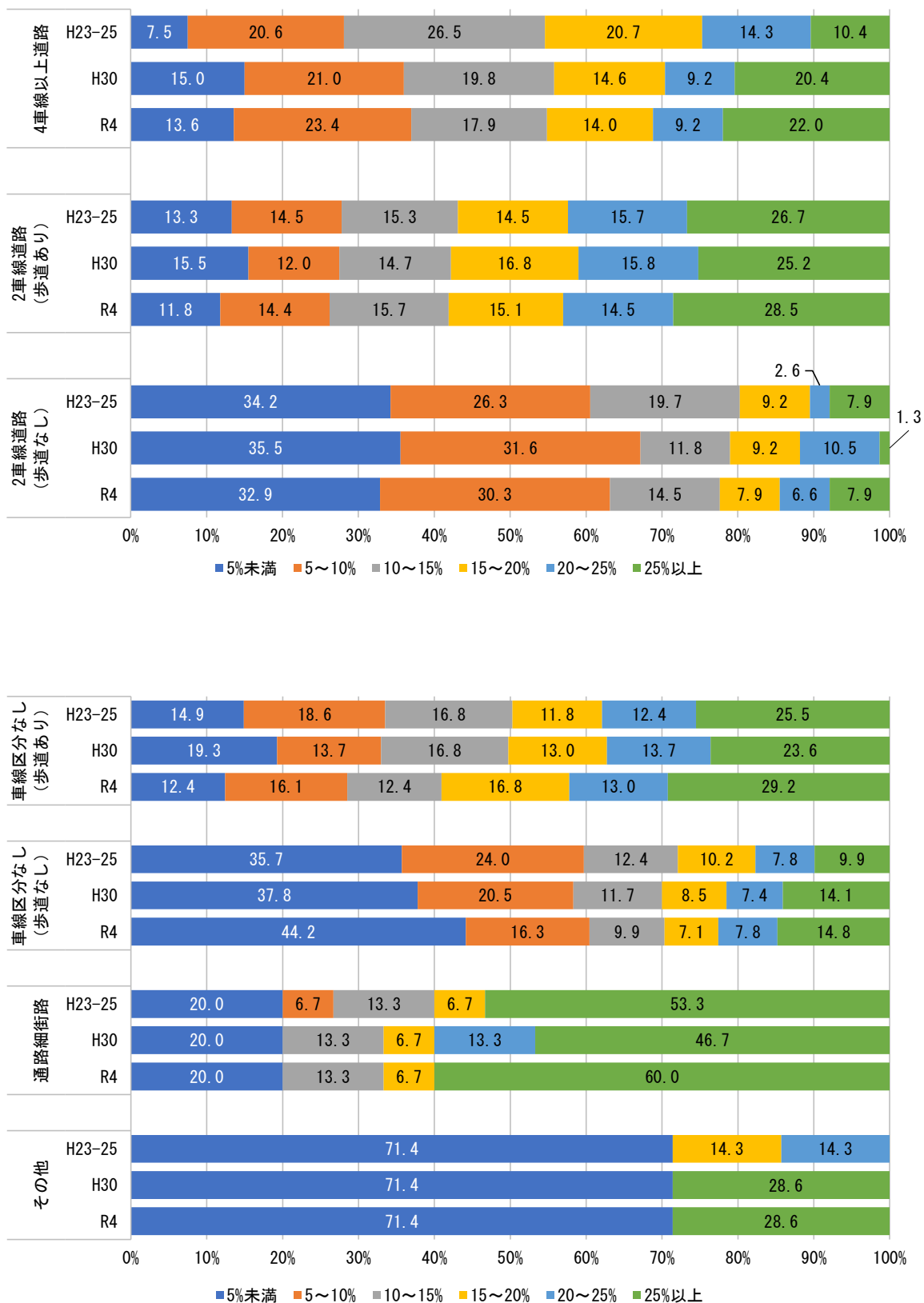


図 3-16 道路幅員別緑視率区分別の割合

前回



今回



屋上緑化

開発工事による緑視率増加例（車線区分無し（歩道あり））「1-43-2」 前回：2.1% 今回：2.7%



壁面緑化

壁面緑化による緑視率増加例（車線区分無し（歩道あり））「2-47-2」 前回：0.2% 今回：2.8%



新規緑化

街路樹の整備による緑視率増加例（4車線道路「1-11-1」 前回：3.9% 今回：6.4%



新規緑化

街路樹の整備による緑視率増加例（4車線道路「2-54-1」 前回：3.1% 今回：17.1%

3. 緑視率調査

前回



今回



新規緑化

開発工事による緑視率増加例（2車線道路（歩道なし））「1-4-2」 前回：5.2% 今回：8.1%



既存緑化の出現

建物解体による緑視率増加例（2車線道路（歩道なし））「3-79-4」 前回：15.0% 今回：28.5%



樹木の消失

伐採による緑視率減少例（車線区分無し（歩道あり））「1-65-3」 前回：44.5% 今回：23.2%



樹木の消失

開発工事による緑視率減少例（4車線道路）「3-96-3」 前回：14.5% 今回：9.1%

前回



今回



宅地内の樹木伐採による緑視率減少例（2車線道路（歩道なし）」「3-36-2」)

前回：2.8% 今回：0.7%



壁面緑化建物の消失

壁面緑化施設の解体による緑視率減少例（2車線道路（歩道なし）」「1-75-2」)

前回：9.2% 今回：7.7%

3. 緑視率調査

3.4.8 土地利用別緑視率

土地利用別の平均緑視率は、公園が 28.7%で最も高く、次いで官公庁施設が 28.4%、学校が 24.6%であった。一方、平均緑視率が低い土地利用は、商業店舗が 8.0%で最も低く、次いで低層住宅が 10.2%、中高層店舗が 12.8%であった。平均緑視率の傾向は、前回調査と同様であり、公園や官公庁施設などの公共系の土地利用で平均緑視率が高い結果であった。

前回調査と今年度調査の平均緑視率を比較すると、公園と官公庁施設が 1.8%で最も多く増加し、次いで中高層事務所が 1.6%、学校と中高層店舗が 1.5%であった。

これらの詳細をみると、公園、官公庁施設は、街路樹や公園内樹木の生長により平均緑視率が増加している箇所が多い傾向であった。そのほか、公園では、一部の調査箇所が開発工事の仮囲いが撤去されたことで、平均緑視率が増加している箇所もみられた。

中高層事務所、学校、中高層店舗についても、街路樹の生長や施設内の樹木の生長により、平均緑視率が増加している箇所が多い傾向にあったが、開発工事による新たな施設の緑化が生まれたことで平均緑視率が増加している箇所もみられた。

一方で、住宅団地と事務所は、前回調査を下回る結果であった。これらの減少例をみると、どちらも調査箇所数に対して街路樹の伐採や剪定が多い傾向にあり、一部では開発工事中により前回調査時の緑化部分が消失している箇所も見受けられた。

そのほか、平均緑視率を 5%ごとに区分した箇所数を割合でみると、学校、公園、官公庁施設、中高層住宅、中高層店舗、事務所、中高層事務所、工場・倉庫で 25%以上の平均緑視率の割合が前回調査よりも高い結果となった。

表 3-7 土地利用別平均緑視率

土地利用	箇所	平均緑視率 (%)			増減
		H23-H25	H30	R4	
学校	101	22.9	23.1	24.6	1.5
公園	178	24.4	26.9	28.7	1.8
官公庁施設	27	22.6	26.6	28.4	1.8
低層住宅	167	9.7	10.0	10.2	0.2
中高層住宅	376	15.2	15.4	16.5	1.1
住宅団地	41	19.7	20.3	19.6	-0.7
商業店舗	109	9.3	7.9	8.0	0.1
中高層店舗	173	12.5	11.3	12.8	1.5
事務所	31	16.0	15.6	15.2	-0.4
中高層事務所	179	15.2	17.4	19.0	1.6
工場・倉庫	206	14.6	17.7	17.8	0.1
その他	139	13.2	13.7	14.2	0.5

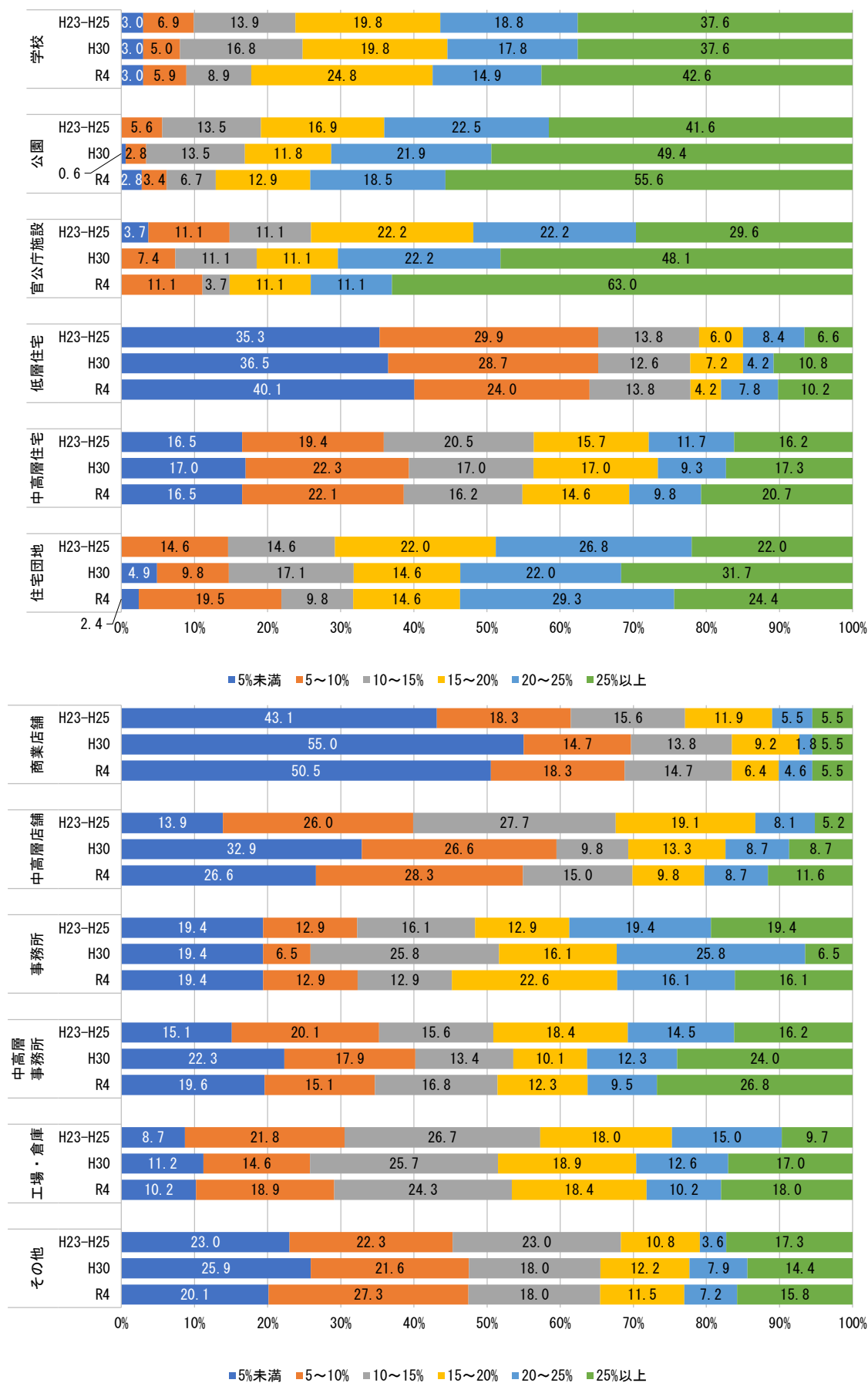


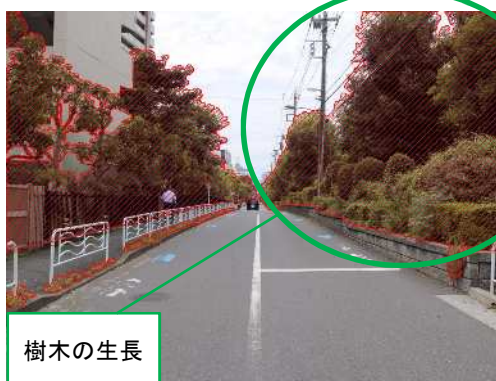
図 3-17 土地利用別緑視率区分別割合

3. 緑視率調査

前回



今回



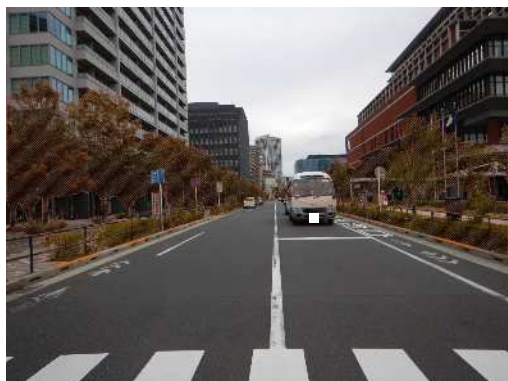
樹木の生長

公園内樹木の生長による緑視率増加例（公園「3-11-3」 前回：29.4% 今回：41.4%）



新規緑化

開発工事による緑視率増加例（公園「3-93-3」 前回：18.1% 今回：34.8%）



街路樹の生長

街路樹の生長による緑視率増加例（官公庁施設「4-28-3」 前回：22.0% 今回：26.3%）



街路樹の生長

街路樹の生長による緑視率増加例（官公庁施設「4-61-4」 前回：13.9% 今回：16.8%）

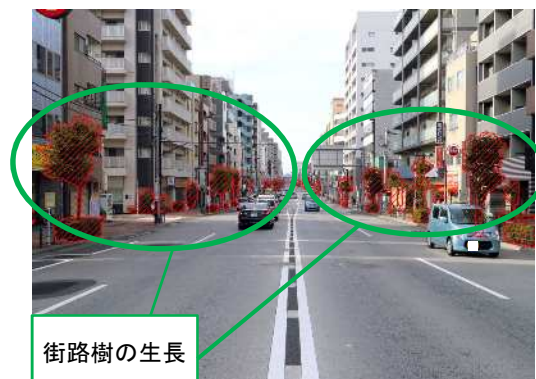
前回

今回



樹木の生長

施設内樹木の生長による緑視率増加例（中高層事務所「1-49-2」 前回：4.3% 今回：4.7%）



街路樹の生長

街路樹の生長による緑視率増加例（中高層事務所「2-20-1」 前回：2.1% 今回：6.6%）



新規緑化

開発工事による緑視率増加例（中高層事務所「2-66-3」 前回：1.7% 今回：3.1%）



新規緑化

開発工事による緑視率増加例（中高層事務所「3-41-2」 前回：4.7% 今回：12.3%）

3. 緑視率調査

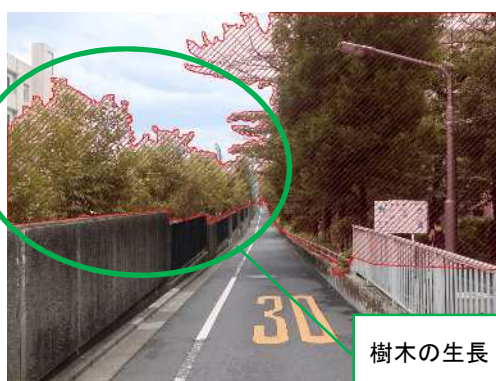
前回



今回



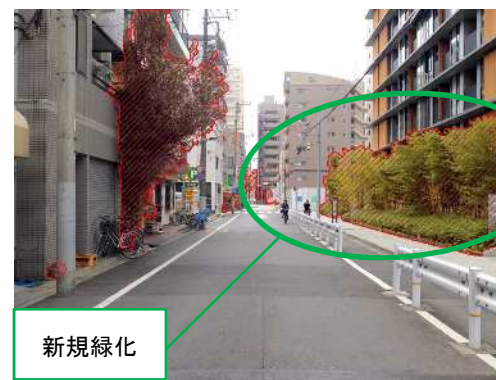
開発工事による緑視率増加例 (学校「1-42-1」 前回 : 9.6% 今回 : 36.9%)



樹木の生長による緑視率増加例 (学校「1-55-3」 前回 : 33.9% 今回 : 46.8%)



街路樹の整備による緑視率増加例 (中高層店舗「1-12-2」 前回 : 8.8% 今回 : 10.1%)



開発工事による緑視率増加例 (中高層店舗「3-50-3」 前回 : 7.4% 今回 : 18.4%)

前回



今回



開発工事による緑視率増加例（中高層店舗「4-13-4」 前回：24.5% 今回：33.0%）



開発工事による緑視率増加例（中高層店舗「4-51-1」 前回：5.3% 今回：15.0%）



改修工事による緑視率減少例（住宅団地「2-14-2」 前回：11.8% 今回：5.6%）



増築による緑視率減少例（住宅団地「2-35-1」 前回：8.1% 今回：8.0%）

3. 緑視率調査

前回

今回



街路樹伐採による緑視率減少例（住宅団地「2-35-4」 前回：21.7% 今回：8.4%）



街路樹伐採による緑視率減少例（住宅団地「5-32-3」 前回：34.7% 今回：30.4%）



街路樹剪定による緑視率減少例（住宅団地「5-38-2」 前回：29.2% 今回：22.4%）



開発工事による緑視率減少例（事務所「1-54-4」 前回：15.8% 今回：12.0%）

前回



今回



街路樹剪定による緑視率減少例（事務所「4-43-1」 前回：21.0% 今回：10.7%）

3. 緑視率調査

3.4.9 用途地域別緑視率

用途地域別の平均緑視率は、工業専用地域が26.9%で最も高く、次いで工業地域が26.0%、第1種中高層住居専用地域が22.6%であった。一方、平均緑視率が低い用途地域は、近隣商業地域が8.8%で最も低く、次いで商業地域が11.2%、無指定が15.0%であった。用途地域が無指定となっている4箇所は、運河等の橋上の箇所である。

前回調査と今年度調査の平均緑視率を比較すると、工業地域が4.7%で最も多く増加し、次いで第2種住居地域が1.6%、工業専用地域が1.5%であった。

これらの詳細をみると、工業地域、工業専用地域は、街路樹や中央分離帯の草木の生長のほか、開発工事による新たな緑化の創出がみられた。そのほか、前回調査時には、剪定時期であったため、今年度調査では緑視率が増加した調査箇所も見受けられた。

第2種住居地域は、開発工事や剪定時期による緑視率の増加はみられず、街路樹や公園内樹木の生長によるものが多い傾向であった。

一方、無指定と第1種中高層住居専用地域は、前回調査を下回る結果であった。これらの減少例をみると、第1種中高層住居専用地域は、街路樹の剪定による緑視率の減少が複数箇所みられる程度であった。そのほかの調査箇所の大半は微減であり、地域全体としても-0.4%であることから、前回調査時から開発等の大きな変化はみられなかった。

無指定については、箇所数が少ないことから緑視率が変動することで、平均緑視率が大きく減少したことが考えられる。

また、平均緑視率を5%ごとに区分した箇所数を割合でみると、第2種住居地域、準住居地域、商業地域、準工業地域、工業地域、工業専用地域で25%以上の平均緑視率の割合が前回調査よりも高い結果となった。特に、準住居地域と工業地域では25%以上の平均緑視率の割合が大きく増えている。

そのほか、近隣商業地域や商業地域などの平均緑視率が低い用途地域についても、25%以上の平均緑視率の割合が前回調査よりも高くなっている結果がみられた。

表 3-8 用途地域別平均緑視率

用途地域	箇所数	平均緑視率 (%)			増減
		H23-H25	H30	R4	
第1種中高層住居専用地域	53	23.4	23.0	22.6	-0.4
第1種住居地域	135	19.8	21.4	21.6	0.2
第2種住居地域	34	19.3	18.6	20.2	1.6
準住居地域	11	15.2	15.6	16.0	0.4
近隣商業地域	115	9.8	8.0	8.8	0.8
商業地域	301	11.8	10.7	11.2	0.5
準工業地域	925	15.9	16.6	17.6	1.0
工業地域	40	19.6	21.3	26.0	4.7
工業専用地域	109	16.0	25.4	26.9	1.5
無指定	4	9.4	20.9	15.0	-5.9

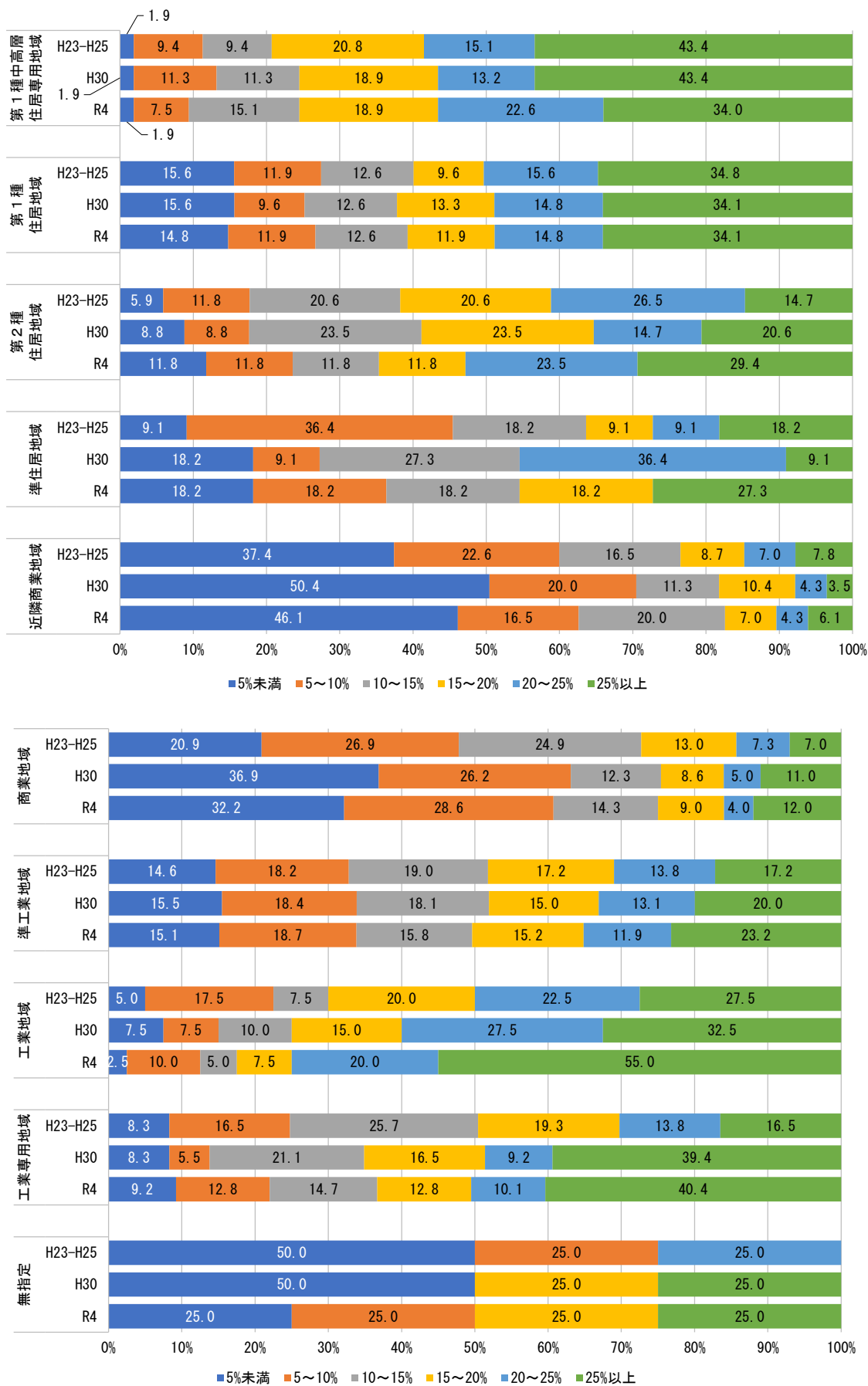


図 3-18 用途地域別緑視率区分別割合

3. 緑視率調査

前回



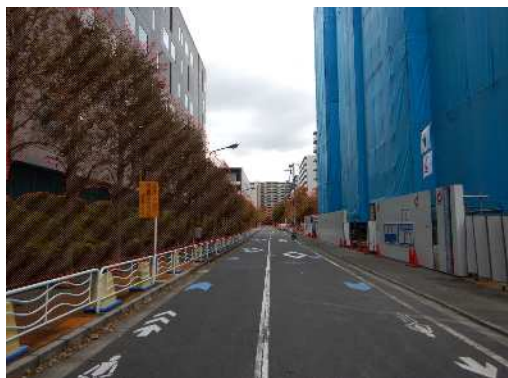
今回



開発工事による緑視率増加例（工業地域「3-93-1」 前回：0.8% 今回：16.0%）



剪定時期による緑視率増加例（工業地域「4-18-1」 前回：28.5% 今回：34.5%）



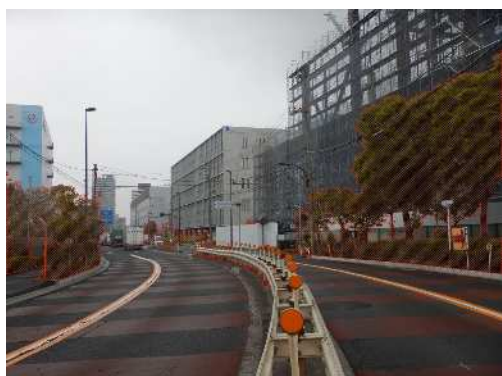
開発工事による緑視率増加例（工業専用地域「3-73-3」 前回：25.3% 今回：29.2%）



開発工事による緑視率増加例（工業専用地域「3-91-1」 前回：17.0% 今回：23.5%）

前回

今回



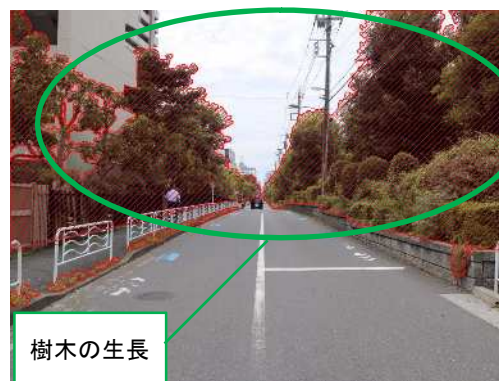
壁面緑化

施設の壁面緑化による緑視率増加例（工業専用地域「3-92-1」 前回：19.5% 今回：25.7%）



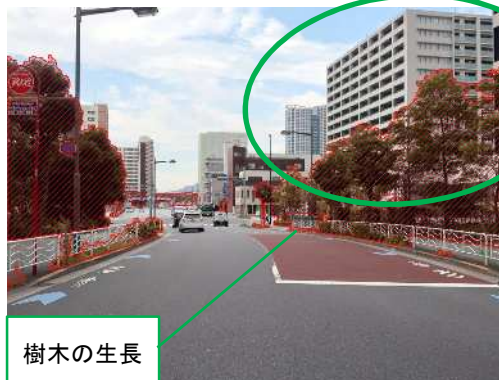
街路樹の生長

街路樹の生長による緑視率増加例（工業専用地域「5-81-1」 前回：76.4% 今回：90.1%）



樹木の生長

公園内樹木の生長による緑視率増加例（第2種住居地域「3-11-3」 前回：29.4% 今回：41.4%）



樹木の生長

街路樹の生長による緑視率増加例（第2種住居地域「4-38-1」 前回：24.6% 今回：24.7%）

前回



今回



施設内樹木の剪定による緑視率減少例（第1種中高層住居専用地域「1-56-2」）

前回：28.9% 今回：24.3%



街路樹の剪定による緑視率減少例（第1種中高層住居専用地域「1-56-3」）

前回：31.5% 今回：28.0%



街路樹の剪定による緑視率減少例（第1種中高層住居専用地域「5-38-2」）

前回：29.2% 今回：22.4%